

平成 21 年 12 月 18 日

環境分析用資材（捕集袋）を世界市場で販売開始
～ 伸長する環境分析事業の更なる拡大へ～

三菱化学株式会社
三菱樹脂株式会社

株式会社三菱ケミカルホールディングスの中核事業会社である三菱化学株式会社（本社：東京都港区、社長：小林 喜光、以下「MCC」）及び三菱樹脂株式会社（本社：東京都中央区、社長：吉田 宏、以下「MPI」）は、MPI が製造したハイガスバリアフィルム「X-BARRIER[®]」を用いた揮発性有機化合物（以下「VOC」 詳細は注 1）の分析用捕集袋「ANALYTIC-BARRIER[™]」を共同で開発し、MCC グループが本年 12 月 15 日より、世界市場に向けて本格的に販売を開始いたしました。

世界中で環境規制がますます厳しくなるなか、特に中国においては環境問題や製品の安全性への関心から関連する環境分析市場が急激に伸びております。自動車や工場などの屋内作業場（以下「屋内作業場」）に関する分析については、環境規制関連法強化に向けた動きもあり、そのニーズは高く、中国の環境分析事業において比較的新しい分野でもあり今後の大きな成長が見込まれております。

自動車や屋内作業場の分析では、主な手法として捕集袋に部材を入れる、または屋内作業場の空気を採取し袋内部の空気から VOC を分析する方法が用いられております。正確な分析を行うため当該分析用捕集袋には、高いガスバリア性、袋自身に VOC が吸着しない高い非吸着性、袋自身からガスが発生しない低アウトガス性等が求められます。

今回共同開発した「ANALYTIC-BARRIER[™]」は、世界最高水準のガスバリア性に加え、上述の条件において国内外のお客様より高い評価を頂いている「X-BARRIER[®]」を用いております。大小様々な自動車部材や屋内作業場の分析ができるよう大きさも 5 L から 2,000 L まで対応しております。

既に一部の自動車メーカーに納入が決定しており、今後、自動車メーカーからのグローバルサプライの要望に応じてまいります。特に需要が伸びている中国で、MCC と環境分析事業で包括提携している中国賽宝実験室（本社：中華人民共和国広東省広州市、総裁：孔 学東、以下「CEPREI」、詳細は注 2）との協業により商圏拡大を目指してまいります。

以上

注 1 Volatile Organic Compounds（揮発性有機化合物）の略

特に、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン等の成分はシックハウス症候群の原因物質とされている。

注 2 < 中国賽宝実験室概要 >

売上高 60 億円（2008 年 12 月期）

主要事業 電子・電気製品の信頼性試験、耐久試験、重金属分析、化学分析等

従業員数 1,000 名

【本件にかかわるお問合せ先】

三菱化学株式会社 広報・IR 室

三菱樹脂株式会社 総務部広報室

TEL：03-6414-3730

TEL：03-3279-3800